

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出支援に限らず本人の行きたい場所やニーズに応じて個別の外出支援の充実に継続して取り組んで欲しい。運営推進会議や職員会議の中でどうすれば個別の外出支援を図っていけるのか協議検討を望みたい。	現状に合わせた外出支援を継続する	<p>個別外出の項目に関しては前回の評価でも指摘を受けており、運営推進会議で話し合い、ご家族様にご協力を呼びかけ、地域の協力を得るため平成28年度に引き続き平成29年度も、はじめの一步、ボランティア講座をきずなカフェで取り入れ、車椅子の操作方法及び認知症の方に対する声かけの仕方などご理解いただきました。</p> <p>しかし現実には、ボランティア講座を、受講いただいて知識があっても、ある程度馴染みの関係になっても、グループホームグリーンでは職員同行なく外部の方に外出をお願いすることはやはり出来ません。</p> <p>ご家族様にご協力をお願いしていますが、実際にはそんなに簡単な話ではありません。いくら書面や会議で話し合いを重ねても、法律に沿い24時間の介護体制は三名、掃除、排泄介助、見守り、入浴、洗濯、調理と業務はこなしてもこなしても終わりません。個人的に希望を聞いて、一人の職員が外出すると施設内に残された利用者の皆様に負担をおかけしてしまいます。また思いや希望はあっても言葉にされない方もおられます。</p> <p>一日体制が四人の日もありますが、グリーン介護方針にあるよう、一人でも寂しい思いをすることのないよう、みなさま同じ様に笑顔になることを目標としているため簡単には個人的外出を取り入れることができません。全利用者の方が行事計画に沿い外出し、外出先でご家族様にご協力もいただきながら、個別にお楽しみいただくことが、今のグリーンで取り組める限界だと思っています。</p> <p>この項目に関しては、数名を取り上げ進めることも出来ませんが、評価時お話ししたようにグリーン利用者の方は皆さま外出すると楽しそうに過ごされます。寂しい思いをしない方がないよう平等に取り組みたい項目なので、改善に前向きに取り組む試行錯誤した二年間を踏まえ、努力重ねた結果得た答えとして、グループホームグリーンでは全利用者の方が一つの行事計画に沿い外出し、個別にお楽しみを感じていただく方向で進めてまいります。評価のたびに改善事項となってもそれはグループホームグリーンの特徴と理解していただければ有り難く思います。</p>	未定
2	43	利用者の生きる意欲を引き出し自信回復のためにトイレでの排泄や排泄自立に向けて今後も引き続き利用者一人ひとりに応じた支援が望まれる。マニュアルの見直し・更新を定期的に行い、見直し更新の年月日の記載を定着させてほしい。	今の心身状況が保てるよう排泄支援を継続する。マニュアル見直し更新の年月日の記載をする。	<p>各種マニュアルに関しては、毎年職場内研修を実施し、マニュアルを再理解した上で見直し全職員が内容に同意した上で、その年度のマニュアルとし、それにそって業務を進めるよう全職員が確認承認記録に残していますが、マニュアル自体に見直した日付や改訂した日付けを書いていませんでした。早速日付けを、記入しました。</p> <p>利用者の方の出来ることを把握し排泄自立に向けて取組んでいます。心身状況から、現時点で今後排泄自立の見込みのある方は、9名中1名のみです。生きる意欲を自信回復のためと、大きなことは出来ませんが、介助をしながらですが、少しでも出来る動作をご自分でやっていただく、手すりを持ちご自分で立ていただくこと、腹圧をかけて排泄が少しでもできること、また衣類の排泄による汚れに気持ち悪いと気付いていただくこと、職員が汚染に気づき速かに清潔を保つこと、尊厳を守る声かけに工夫して更衣介助が出来ることに努め、今の心身状況が保てるよう支援を継続します。</p>	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。